

今日はスタート、まだ<結論>を出せるわけがない！

- 市民・県民は今日始めて説明を受けるのです。
- それから疑問点の質問を受け、それに答えていただきたい。
- 決めるときは、市民・県民の意見を集約したうえで。
- 市民・県民が判断するため必要な資料・材料はすべて公表して。

やっぱり！責任ある知事の言葉

県としては本当に安全なのかどうか、なぜ安全だと言われたのか、その根拠は何かと、揺れが大きかった理由は何か、それは整合的に説明がされているのか等、もう一度、一から洗い直しまして、私自身も一素人として、原子力の専門家ではない一素人として、分かる範囲で納得してからでないと前に進めない。』

(1月11日定例記者会見・県ホームページより抜粋)

地元 4 市長・市議会の反応(報道より)

御前崎市議会・掛川市長……運転再開を了承

牧之原市議会・掛川市議会……協議無し(事前了解事項ではないとの判断)

菊川市議会……審議不十分・議会としての合意は持ち越し

◆新しい耐震指針による診断結果はまだ出ていません

数々の疑問あり、当会では「公開質問書」を県に提出しています

- ・想定東海地震が浜岡原発サイトでわずか 311 ガル！ 増幅考慮しても 604 ガル？
- ・揺れの継続時間がたったの 20 秒！ 上下動は最強でも 186 ガル？
- ・1454 ガルのゆれについて確認したのは、「(耐震設計上) 重要な設備」のうちのわずか 8 設備のみ。その他の「重要な設備」(8~9 割) は未確認
- ・1000 ガル以上の揺れに対しては構造強度計算も耐震補強も行っていない！